

モグリンニュース

第22号(2007年2月)



1月の研修会報告!

20日(土)のボランティア研修会は、いつもと趣向を変えて、学校の出張授業などで使う体験道具を製作しました。一つは、火起こし体験で使う“火きり臼”と呼ばれる木の板の加工。この



みなさん工具の扱いがバッチリで、用意していた木の板は全てなくなってしまいました!



作業では、電動のバンドソーやドリルなどの工具を使います。初めてこれらの道具に触れる方もいらっしゃいましたが、すぐにコツをつかんで、す

っかり夢中になっておられました。屋上での作業で

したが、日があるとポカポカして気持ちよかったですね!

もう一つは、土器に模様をつける道具 - 施文具 - の製作。短くカットした丸棒の表面に、やすりやカッターナイフ、彫刻刀などで模様をつけたり、ひもを巻いたりしていきました。いかにおもしろ



試行錯誤をくり返ししながら、一つずつ手作りしていきます。昔の人もこんな風に考えながら作ったのでしょう。



完成品!(上:火きり臼 下:施文具)

い模様を作るか・・・みなさん頭をひねっていらっしゃいましたが、おかげで子どもたちがとても喜びそうなステキな施文具が完成しました!今回習得した技は、当課の事業への協力だけでなく、ご自分でものづくりをしたり、地域で活動されたりするときなどに、役立てていただけると嬉しいです!

1月の出張事業は、沼田公民館(安佐南区)で19日(金)にまが玉づくりの講座があり、ロビーでは安佐南区の遺跡から出土した弥生土器や石包丁、石斧、石鏃などの遺物も展示しました。(2月8日(木)まで)



文化財課のボランティア活動を通して...



「世界中どこを探してもこれと同じ物はないんよ」。土器作りが思うように埒らない子どもを励ます。いびつながらも辛うじて仕上がると「宝物じゃね」と共に喜ぶ。

神話の海幸彦、山幸彦は互いの猟具を交換し、相手の釣針を失くしたことから物語は展開する。大国主命が担いでいた袋の中身は土器用の土、イザナミが命を賭けた火の神“迦具土(カグツチ)”，天照大御神の玉、須佐之男命の剣など、現代なら機械を使って簡単に出来そうな物が古の神々の象徴となっている。

文化財課で活動を始めて丸二年。肩と目を凝らし、時に溜息をつき、工具など無かった大昔ゼロから物作りをスタートさせた人々に思いを馳せ、畏敬の念を覚えながら、それらしいことを教えてもらっている。安価で使い捨て、お金を払えば何でもありの現代で、面倒臭いけれどコツコツと作り上げる喜びを子どもたちに知って欲しいと願い手助けをさせてもらっている。

何ととっても完成した時の笑顔は私の最高の「宝物」なのだから。

(筆：ボランティア学芸員 下野千鶴さん)



子どもたちの目は真剣そのもの。左：はにわづくり 中：鹿角釣針づくり 右：火起こし体験

お待ちしてま～す！

2月24日(土)午後1時から3時まで、トンガ坊城遺跡(安佐北区三入)で発掘調査現地説明会を開催します。

トンガ坊城遺跡の調査もまもなく終わりを迎えます。古代の人々と同じ場所に立ち、当時の暮らしにあれこれ思いをめぐらせてみてはいかがでしょう？詳しくは同封のチラシをご覧ください。この機会をぜひお見逃しなく！



また、2年にわたり発掘調査を行ってきた法務総合庁舎地点(中区上八丁堀)の現場が、今月初めに無事終了しました。街中特有の夏の暑さと、冬はビルに日射を遮られながら、コツコツと調査を行ってきました。今後は遺物の整理と報告書の作成を行っていきます。

竪穴住居を見たことがありますか？実は市内に復元された竪穴住居があるんです！本でしか見たことのない私は、期待を胸に現地へ向かいました！

名称	県指定史跡 恵下山・山手遺跡群	
所在地	安佐北区落合/真亀	
どんな遺跡？	高陽ニュータウン建設中に発見された遺跡群。恵下山遺跡・恵下山城跡・山手遺跡の3つから成ります。今回訪れた恵下山遺跡は弥生時代後期から古墳時代初頭にかけての集落跡や、横穴式石室を持つ古墳があり、尾根上の集落跡には復元された竪穴住居と発掘跡が残されています。また、少し上った場所にある恵下山城跡は鎌倉時代末期から室町時代後期の山城の跡で、西を流れる太田川と南側の谷を天然の外堀としてうまく利用していたようです。	

普段は施錠してある住居の中に特別に入れてもらいました！入口は私が身を屈めてやっと通れるほど幅も高さも狭かったです。



暗くてちょっとコワイな...



天井が高くて思ったより広っ

入った瞬間は真っ暗に感じましたが、目が慣れてくると天井付近に煙抜きや明かりとりのための窓があることなど、工夫を感じました。

発掘された住居の跡。直径約6m。柱をたてるための穴が残っています。



公園を歩いて奥に歩いていくと恵下山遺跡へ続く階段があります。



山城跡には展望スペースがあり、太田川を見下ろせます。対岸にあった山城「八木城」とのいざこざが絶えなかったとか...

この遺跡のことをもっと知りたい方は...

2月5日(月)から一週間、ふれあいチャンネルの「ふるさと歴史の扉」という番組で、国指定史跡の中小田古墳群と恵下山遺跡が紹介されます。実は、稲坂と田原も案内役として出演しています。小雨が降る中、寒さに震えながら頑張りましたので、視聴可能な方は覚えていたらご覧ください！

今回紹介する2つの遺跡は、今月行われる「ひろしま通^{つう}」認定試験の公式テキスト(中国新聞社発行)でも紹介されています。





緊急連絡! つづき...

先月号でお知らせした歴史系3施設合同ボランティア団体をつくりますという動きの続報です。文化財課では、4月以降もこれまでと同様に小学校への出張授業(土器づくり・古代生活体験など)や公民館などとのさまざまな連携事業(ものづくり講座・フィールドワークなど)を予定しており、みなさんに活動していただく場をドシドシ提供していきたいと思っています。また、新たに加わる郷土資料館と広島城での活動メニューは、同封した資料にあるとおりです。それぞれに特徴のある事業を展開していますので、大いにご期待下さい。それに、当課とは違った館内の雰囲気や 稲 荒 田 にはないキャラの職員たちとの交流も楽しみにして下さいネ。

そこで 3月の研修会 ですが・・・



3月18日(日)の午後1時から4時まで、郷土資料館(南区宇品御幸二丁目 / 253-6771)の講堂で、「わたしもボランティア

活動をやってみたい!!」という方に集まっていただいて

説明会を開きます。これまでみなさんがやってこられた活動の様子をスライドで紹介したり、各施設で取り組んでいる体験メニューを試してもらおうと考えています。これにみなさんも先輩ボランティアとしてぜひご参加下さい。



写真は昨年度の募集講座の様子です。

市広報紙『市民と市政』(3月1日号)に募集記事が掲載されます



2月の研修会〔17日(土)午後1時~「糸紡ぎと組み紐づくり」 於郷土資料館〕もまだまだ募集中!文化財課ではできない“かわいくてキレイ”な工作です。ご参加お待ちしております。



文化財課の連絡先

稲坂・荒川・田原 まで

〒732-0052 広島市東区光町二丁目15-36

TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513

稲坂 ina@mogurin.or.jp 荒川 ara@mogurin.or.jp 田原 tahara@mogurin.or.jp

文化財課ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>